

静岡県定置協会生産技術研修会開催

—潮流の特性と定置網の構造について学ぶ—

平成 28 年 11 月 25 日（金）に伊東ホテルじゅらくにおいて、静岡県定置漁業協会生産技術研修会が開催されました。

日吉会長より「伊豆の定置漁業と、この研修会は長い歴史があり、先人の資源管理のあり方を引き継いでいきたい」との挨拶の後、静岡県経済産業部水産業局中平局長や、東京大学生産技術研究所平塚総合海洋実験場の石戸谷博範氏らによる講演が行われました。

本研修会のメインとなる石戸谷氏の講演「相模湾における潮流の特性と定置網の構造について」では、急潮の発生機構や威力、黒潮流路や台風との関係について、事例や図を交え、基本的な部分から詳しく説明いただきました。また、定置網の構造や管理については、「定置網の洗浄は非常に重要で、10 日に 1 回は交換または洗浄するのが望ましく、フジツボやムラサキイガイが付着すると、側は沈みやすくなり、沈むと漁獲量の激減や漁具被害の増加に繋がる」、「漁場の流況に合わせて網の形を変えることで漁獲量は大きく変わる」といったことについて説明していただきました。

急潮の発生は定置網の破損など大きな損害を与えることもあるため、定置漁業者にとって大きな懸念材料となります。今回の研修では、若手もベテランも急潮について基礎から学ぶことができたため、急潮対策について改めて考える良い機会になったと思います。



（写真）研修会の様子

（鈴木勇己）